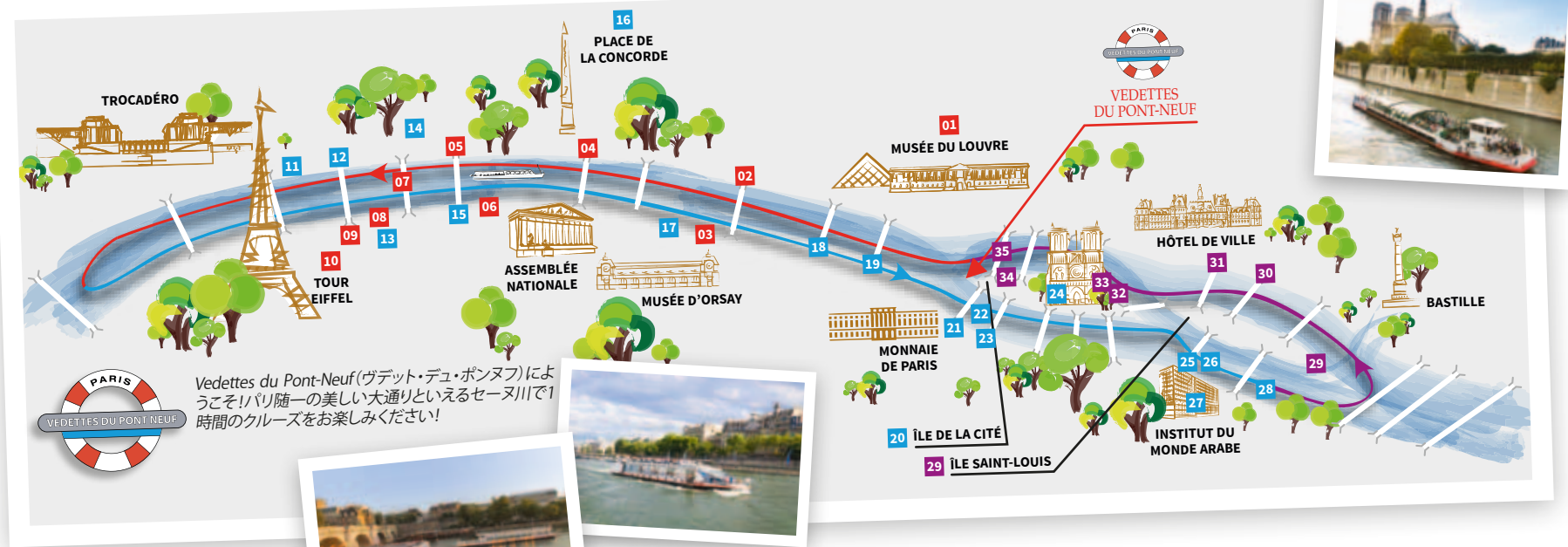




01 MUSÉE DU LOUVRE

パリ最大の建造物であり、世界最大の入場者数を誇る美術館です。その豊富なコレクションにより、世界で最も名高い美術館の一つで、全長およそ16kmに及ぶ通路には約35000点もの美術品が展示されています。12世紀に要塞として建設され、のちに王家の住居となったこの宮殿は、1793年に美術館となりました。館内では、「モナリザ」、「ミロのビーナス」、「サモトラケのニケ」、「カナの婚礼」、「ナポレオンの戴冠式」をはじめとする数々の傑作をご鑑賞いただけます。ここは、各作品の前にわずか3秒間立ち止まったとしても、全館をくまなく見学するには、昼夜休みなく回っても、およそ3カ月かかるほどの広さなのです。

02 PONT ROYAL

パリに現存する37本の橋のうち、最も古いのものがロワイヤル橋です。ヴェルサイユ宮殿の莫大な建設費を大目に見てもらいたいと考えた太陽王、ルイ14世がパリ市民にこの橋を捧げたことからこの名(王家の橋)が付けられました。

03 MUSÉE D'ORSAY

1900年の万国博覧会のために建設された旧オルセー駅のファサードの至る所に、1900年にこの駅に出資した鉄道会社、パリ・オルレアン鉄道を意味するPとOの文字が見られます。この駅は、19世紀の美術を収蔵する目的で、1980年代に美術館となりました。館内では、ルノワール、ゴーギャン、モネ、マネ、ゴッホといった印象派の巨

匠達の作品をご堪能いただけます。建物の最頂部には、フランス西部の3大都市であるナント、トゥールーズ、ボルドーを象徴する3体の像が見えます。

04 PONT DE LA CONCORDE

これは、1789年のフランス革命の際に破壊されたバスティーユ牢獄の石で建てられた象徴的な橋です。この左側では、国民議会の議事堂として使用されるブルボン宮殿へ、そして右側はコンコルド広場へと続きます。

05 PONT ALEXANDRE III

1900年万国博覧会のために建設され、パリで最も美しい橋との誉れ高いこの橋は、フランスとロシアの友好のシンボルです。橋の中央部にサンクトペテルブルク市の金の紋章、また、両側にロシアのネヴァ川を象徴する2体のニンフ像が見られるのはそのためです。

06 HÔTEL DES INVALIDES

左手に、ナポレオン1世の墓を祀るアンヴァリッド(廃兵院)の黄金のドームが見えます。

07 PONT DES INVALIDES

これは、ナポレオン3世の陸海軍の勝利を称える橋です。船が海軍の勝利を表し、大砲が陸軍の勝利を表しています。

08 VOIES SUR BERGES & JARDINS FLOTTANTS

1970年代に交通整備された道路は、2010年代に入って歩行者道となりました。河岸に沿って散策しながら、周囲に設置された家族向けの活動の数々をお楽しみください。

09 PONT DE L'ALMA

1970年代に再建されたこの橋の右側には、元の橋から保存された有名なズアープ兵の像が見えます。パリの住民は、この像でセーヌ川の水位を測定する習慣がありました。1910年の大洪水時には、首まで水に浸かり、2016年6月には、腰の位置まで水位が上がりました。

10 TOUR EIFFEL

パリのスター的存在: エッフェル塔。フランス革命100周年記念に、1889年の万国博覧会でお披露目となりました。技師、ギュスターヴ・エッフェルの真の功績であるこの塔は、高さ324mを超え、重さは約1万トンにのびます。長い間、エッフェル塔は世界で最も高い建造物でしたが、今日では高さ1000m近くに及ぶ建物にその座を奪われ、遠く及びません。エッフェル塔は、1年を通して夜11時まで、さらに夏季は深夜0時まで見学できます。7年ごとに行われる塔の改装には60トンもの塗料が使用され、修復に3年を要します。そんなエッフェル塔も、建設開始当時はパリ市民の間で不評でした。なにしろ、市民たちは塔を醜悪な代物だとこき下ろし、崩れ落ちるのではないかと恐れたものです。この塔はもともと、20年

の期限で建てられたものの、塔頂にラジオ・テレビのアンテナが設置された1906年に取り壊しを免れました。歴史的建造物として認識される今日、エッフェル塔は世界中でフランスを代表するシンボルとなっています。

11 PALAIS DE TOKYO

1937年の万国博覧会を機に建設されました。内部には、広大な展示室を備えた近代美術館のほか、この街の最先端を行くクラブの一つがあります。

12 FLAMME DORÉE OU FLAMME DE LA LIBERTÉ

この彫刻は、ニューヨークの自由の女神像が掲げる炎の正確な複製です。この炎は、仏米の友好の象徴としてアメリカからフランスに贈られたものです。ところが、ダイアナ元妃がアルマ広場のトンネルで死亡して以来、今日では元妃に捧げる記念碑と認識する人がほとんどです。

13 ÉGLISE AMÉRICAINE

この教会は、1931年、アメリカ領土外に建設された最初のアメリカ教会となりました。ステンドグラスの窓は、のちに偉大な宝石商となったティファニーが手がけたものです。

14 GRAND PALAIS

これは1900年の万国博覧会のために建てられたものです。その見事なガラス屋根は重さ8500トンにのび、10000トンのエッフェル塔とほぼ同じ重量です。ここでは当時と同じく、今

でも競馬やカーレースが開催されるほか、展覧会やファッションウィークのショーも開かれています。

15 PONT ALEXANDRE III

アレクサンドル3世橋のこちら側の中心部に、パリの紋章を垣間見ることができます。そこに記されているのは有名な標語「Fluctuat Nec Mergitur」、すなわち、「たゆたえども沈まず」。紋章を取り囲む2体のニンフ像は、私達が航行する河川、つまりセーヌ川を象徴しています。

16 PLACE DE LA CONCORDE

サッカー場の約12倍に相当する8ヘクタール以上の広さを誇るパリ最大の広場です。広場の中心には、ルクソール神殿のオベリスクが立っています。3300年以上の歴史を持つこのオベリスクはパリ最古の記念碑です。これは、エジプトからフランスへ贈られたもので、4面に渡ってファラオ・ラムセス2世の物語が綴られています。フランス革命の間、この広場にギロチンが置かれ、正確には1119人の首がはねられました。その中には、ルイ16世とその后マリー・アントワネットのほか、ダントンやロベスピエールといった革命家達も名を連ねています。

17 PALAIS DE LA LÉGION D'HONNEUR

緑色のドームが特徴のこの建物には、現在レジオン・ドヌール博物館が収容されています。このレジオン(軍団)は、ナポレオン1世が制定したフランス

最高の栄典制度です。米国ワシントンD.C.のホワイトハウスは、この宮殿と同じ模型に沿って、7倍の大きさで建てられました。

18 QUAI VOLTAIRE

ヴォルテール河岸では、パリで最も小さな家、いや、少なくともパリで最も幅が狭い家をご覧いただけます。その家は、赤い家と黄色い家の間で、河岸の最後に立つ2本の木の間に建っています。

19 PONT DES ARTS & INSTITUT DE FRANCE

この「芸術橋」は、フランスで建設された最初の鉄橋です。この右側には、5つのアカデミーからなるフランス学士院があり、そのうち最も有名なものがアカデミー・フランセーズです。「Immortels」(不死身)と呼ばれる40人のアカデミー会員は、毎年フランス語辞書を更新する役割を担っています。

20 ÎLE DE LA CITÉ

この島がパリ発祥の地と言われるのは、パリシイと呼ばれる最初の住人が紀元前3世紀に住みつき、パリジャンという名の起源となったからです。

21 PONT NEUF

「新橋」を意味するその名に反して、17世紀に建てられたパリ最古の橋です。人々がその上を散歩し、セーヌ川の景色を眺めることができた歩行者用の最初の橋だったことからこの名前がつけられました。橋のインフラ整備のため周辺に住宅が建設されたことは、当時としては極めて革新的なことでした。

22 QUAI DES ORFÈVRES

オルフェーヴル河岸は犯罪捜査で有名です。すぐ後ろには、サント・シャベルを収容するパレ・ド・ジュスティス(最高裁判所)があります。

23 PONT SAINT-MICHEL

この橋の柱に刻まれた2つの皇帝「N」の文字で、ナポレオン3世政權下に建てられたことがわかります。その右側はカルチュラタンに続きます。この「ラテン区」という名は中世に遡ります。その頃、有名なソルボンヌ大学の授業で使われていた言語がラテン語だったため名付けられたものです。

24 CATHÉDRALE NOTRE-DAME

これぞパリが誇るゴシック様式の宝石です。この大聖堂の建設には、12世紀から14世紀にかけてほぼ200年の歳月が費やされました。ノートルダムは、その彫像、ガーゴイル、ステンドグラスで

名高い一方、32000枚ものガラスで作られた直径13mの大きなバラ窓でも有名です。南向きのバラ窓は、大聖堂のすべての光をもたらす存在です。

25 PONT DE LA TOURNELLE

右に行くと、有名なレストラン、トゥール・ダルジャンへと続きます。アンリ3世とその母カトリヌ・ド・メディシスが初めてフォークを使って食事をしたのがこの店であったという逸話が伝えられています。お子様にも嬉しいのは、アニメ映画『レミーのおいしいレストラン』がこのレストランの料理をモデルにしていることです。あくまでもネズミではなく、料理ですのでご安心を!

26 STATUE DE SAINTE-GENEVIÈVE

このパリの守護聖人は、橋のたもと右手に佇んでいます。聖ジュヌヴィエーヴが優しく包む幼子は、パリ市民を象徴しています。

27 INSTITUT DU MONDE ARABE

1987年、ジュリー橋の右側に開館した研究機関です。内部には、博物館、展示室、図書館が収容されています。最上階のテラスから見事な景色をお楽しみいただけます。

28 QUAI SAINT-BERNARD

かつてワイン市場があったこの場所は、1970年代に現代彫刻を収蔵する野外美術館に改装されました。右側に最初に見えるグレーの彫刻は、「侍の帯」と呼ばれています。

29 ÎLE SAINT-LOUIS

パリで最も洗練された閑静な地区だけに、最も高価な地区でもあります。この島には交通量がほとんどなく、地下鉄も通っていません。ここでは、17世紀に建てられた美しい個人邸宅が目に入ります。

30 PONT MARIE

これはパリで最もロマンチックな橋です。言い伝えによると、初めてこの橋の下を通過する時は何らかの誓いを立てなければならず、その誓いが実現するには、橋の下を通過する瞬間に目を閉じ、隣にいる人にキスしなければならないというものです。

31 HÔTEL DE VILLE

かつてグレーヴ広場と呼ばれ公開処刑が行われていた市庁舎前の広場は、現在ではコンサートやフェスティバル、また冬場はスケートリンクも開催されています。

32 HÔTEL-DIEU

これは7世紀に建設されたパリで最初の公立病院で、今も現役の医療施設です。

33 TOUR DE L'HORLOGE

次に見える橋の左側に位置するこの時計塔は、パリ最古の公共時計として14世紀に設置されたものです。

34 CONCIERGERIE

当初王宮であったこの建物は、14世紀には牢獄に姿を変えました。王妃マリー・アントワネットがコンコルド広場でギロチンの露と消えるまで、人生最後の2カ月間を過ごした場所です。

35 PONT NEUF

橋に沿って、マスカロンと呼ばれる顔の彫刻が施されています。これは、アンリ4世の友や大臣など、この橋の頑強さを信用しなかった者達の顔がかたどられたものです。アンリ4世は、彼らの歪んだ滑稽な顔を模して、からかうことにしたわけです。

皆さま、クルーズが終わりを迎えました。この発見の一時間、ご清聴いただき誠にありがとうございました。私共のご案内をお楽しみいただけましたでしょうか。それでは、引き続き快適なパリ滞在をお祈りします。